

小樽商科大学グローバル戦略推進センター（以下、CGS）教員公募要領

小樽商科大学 CGS グローカル教育部門^(注)において、下記のとおり准教授または講師を公募いたします。

記

1. 担 当 業 務： 以下の業務を担当していただきます。
 - (1) 高等学校や国内外の大学・教育機関、各種団体等と協働し、ギャップイヤー制度や学外学修に関するプログラムの開発・運営
 - (2) 主に留学希望者の英語力やアカデミックスキル向上に結びつくカリキュラム等の開発・運営
 - (3) 基礎ゼミやグローバルセミナー、グローバルフィールドワーク等の英語開講科目
 - (4) 英語関連科目（TOEFL・TOEIC 対策を担当できることが望ましい）
 - (5) グローカル教育部門関連会議への出席や教育プログラムの企画・運営
2. 職 名 ・ 人 員： 准教授または講師 1 名。
3. 任 期： 基本的には定めない。業績や経験が浅い場合はテニュアトラック制度（任期 5 年）での採用となる可能性があるが、任期中の審査で合格した場合のテニュア付与は可能。本学のテニュアトラック制に関しては以下のリンク（令和 8 年 1 月 15 日現在）をご参照ください。
https://public1.legalcrud.com/nuc_hokkaido/act/110010123.html
4. 所 属： CGS グローカル教育部門。
5. 応 募 資 格： 原則として以下の条件を満たすこと。
 - (1) 大学院博士課程修了（見込み）もしくはそれと同等の研究業績を有すること
分野は問わない
 - (2) 日本語および英語で職務を遂行できること
 - (3) 留学生および正規学生に対し英語で授業ができること
高等教育機関における教育経験を有することが望ましい
 - (4) 研究・教育活動に加え、学内業務（各種委員会および入試業務等）を積極的に遂行できること
6. 採用予定年月日： 令和 8 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期。
7. 給 与： 北海道国立大学機構小樽商科大学 2 号年俸制適用職員給与規程による。本学の給与規定に関しては以下のリンク（令和 8 年 1 月 15 日現在）をご参照下さい。
https://public1.legalcrud.com/nuc_hokkaido/act/110020755.html
8. 応 募 締 切 日： 令和 8 年 3 月 3 日（火）17：00 必着
9. 応 募 書 類： 以下の書類をご用意下さい。
 - (1) 履歴書（学歴・職歴・研究・教育業績などがわかる資料）
 - (2) 主要学術業績の資料（論文・書籍等 3 点以内、電子ファイルが望ましい）
 - (3) 日本語・英語を用いた修学歴・職歴、あるいはこれらの言語が使用される機関での滞在歴などを日本語で要約したもの
 - (4) 大学院修士課程以上の修了証明書の写し、成績証明書の写し、及び
 - ・博士課程修了見込み者は論文プロスペクトス（20～50 頁程度）の写し
 - ・博士課程修了者は博士論文の写し
 - (5) 教育に関する今後の抱負（A4 サイズ用紙、3 ページ以内）、特に英語教育及び本学のギャップイヤープログラムに関する視点を加えること
 - (6) 今後の研究計画（A4 サイズ用紙、3 ページ以内）
 - ・これらの書類の書式は自由です。（3）は日本語で、それ以外は日本語または英語で作成してください。審査の状況により、証明書の原本、本学所定の様式による履歴書や教育研究業績表、学部の卒業証明書、学部の成績証明書、推薦状、

英語能力を証明できる書類、顔写真等の提出を願うことがあります。

・上記（１）の本学所定の様式は下記 web ページから取得できます。

<https://www.otaru-uc.ac.jp/summary/employment/>

10. 選 考 方 法： 提出書類を書面審査のうえ、面接および模擬授業を対面またはオンラインで行います。

11. 書 類 提 出 先： 応募書類はEメールにより送付してください。

Eメール：jinji@office.otaru-uc.ac.jp

※件名を「CGS グローカル教育部門担当教員応募」とし送信してください。

上記の方法で提出できない書類がある場合は、その書類のみ別途、下記の要領で郵送してください。

郵 送 先： 〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 小樽商科大学長宛

※封筒のおもて面に「CGS グローカル教育部門担当教員応募書類」と朱書きし、書留便にしてください。

12. 連 絡 先： 企画総務課人事係 TEL：0134-27-5208 FAX：0134-27-5213

Eメール：jinji@office.otaru-uc.ac.jp

13. そ の 他： ・本学は男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等を遵守しております。

・提出書類は原則として返却しません。履歴書等の個人情報に関わる書類は、審査終了次第、廃棄いたします。

注) CGS とはグローバル戦略推進センター (Center for Glocal Strategy) の略であり、グローバル教育部門、教育支援部門、産学官連携推進部門、及び研究支援部門から構成されます。さらにグローバル教育部門は、グローバル教育専門部会と社会連携実践専門部会とに細分されます。CGS グローカル教育部門の詳細については、以下のリンクの別表1をご覧ください (令和8年1月15日現在)：

https://public1.legalcrud.com/nuc_hokkaido/act/110010303.html

※【参考】CGS グローカル教育部門グローバル教育専門部会は、本学のグローバル教育に係る次の事項を審議します。

- (1) 短期留学プログラムへの受入に関する事項
- (2) 短期留学プログラムの協力科目に関する事項
- (3) 短期留学プログラム授業の改善に関する事項
- (4) その他短期留学プログラムに関する事項
- (5) グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラムに関する事項
- (6) 日本語教育（授業計画、非常勤講師の任用手続き、日本語補講実施等）に関する事項
- (7) 国際交流科目に関する事項
- (8) 留学生の修学指導等に関する事項
- (9) 派遣留学（交換留学、語学研修、海外研修プログラム（アジア・オセアニア事情、アメリカ事情、ヨーロッパ事情）、シニアイヤーアブロードプログラム等）に関する事項
- (10) ギャップイヤープログラムに関する事項
- (11) 派遣学生の修学指導等に関する事項
- (12) 国際交流会館の管理運営に関する事項
- (13) その他グローバル教育に関する事項